

2010 年度 夏季合宿
鳥取県大山縦走・砂丘踏破合宿
報告書

日時：2010 年 8 月 30 日(月)~9 月 4 日(土)
事業地：鳥取県大山、鳥取砂丘

関西大学探検部

報告概要

事業名：鳥取県大山縦走・鳥取砂丘踏破合宿

事業地：鳥取県大山町大山 鳥
取県鳥取市鳥取砂丘

期間：8月30日(月)~9月4日(土)

計画目的：①大山の縦走。
②気象・読図などの基本的なキャンピング技術の獲得。
③鳥取砂丘の踏破と砂地での歩行感覚の習得。

結果：①達成した。
②十分に達成したとはいえない。
③達成した。

隊員：CL 津本春陽(文学部 2回)
SL 加門佐知子(文学部 4回)
松下亮介(環境都市工学部 1回)

現地管轄警察署 鳥取
県八橋警察署
住所：〒689-2301 鳥取県東伯郡琴浦町八橋 645 番地
電話：0858-49-0110

砂丘駐在所
住所：〒689-0105 鳥取市福部町湯山 2083 番地
電話：0857-23-4067

総括

夏季休暇期間中の8月30日(月)~9月4日(土)を利用して、鳥取県大山・鳥取砂丘にて大山縦走・砂丘踏破合宿を行なった。大山縦走距離は約43km、砂丘踏破距離は約36kmである。

大山縦走の目的は、読図や気象などのキャンピングの基本的な技術の獲得、野外活動の経験を積むことと隊員全体の一層の体力強化であった。読図や気象などのキャンピングの基本的な技術の獲得という目的は十分に達成できたとはいえないものの残り二つの目的は達成できたと考える。キャンピングの基本的技術の獲得では、気象の天気図を隊員全体でつけるとしていたが気象係が天気図の持参を忘れた為につける事ができなかった。読図については、前日に翌日のルートの確認を全員で行ない休憩時間に各々が現在地を確認し記録をつけることで読図の技術は向上したのではと考える。

砂丘踏破の目的は、普段あまり歩く事のない砂地での歩行感覚を身につける事であった。砂丘を長い時間歩くことで砂地での歩行感覚は身につけられたと考える。また、砂丘の暑さを体感することで砂漠遠征についても考える事ができた。直射日光による暑さに加えて足元の砂からの反射熱も厳しいと知っていたが、実際に歩いてみると直射日光よりも足元の砂からの放射熱が予想以上に暑かった。今後、砂漠への遠征合宿を行なうならば足元からの放射熱への対策を考える必要があるのではないだろうか。

今回砂丘踏破の後キャンプ地にてテントの設営練習も行なった。設営練習では、2人一組になりテントを設営し、残りの1人が時間を測った。これまで時間を意識してテントを設営した事がなかったが、今回時間を意識してテントを設営することでより早くテントの設営ができるようになったのではないだろうか。だが、設営にかかる時間を短くする事ばかりを考えていると、設営中の怪我やポールなどの破損にもつながりかねない。設営を短い時間でできるようになることも大切だが、怪我や破損がないように充分気をつける必要があるだろう。設営に慣れれば自ずと設営にかかる時間は短くなるため、各々が設営に慣れれば十分であると考えられる。

今回が初めてのCLであった。今回の合宿では、一日目に駒鳥峠へのルートが途中でわからなくなるなど、経験不足と技術不足を感じる事もあった。しかし、自ら様々な判断をする機会となり今後CLをするうえで良い経験になったと感じた。今回の経験をふまえて、今後はより経験を積んでいくとともに技術もしっかりと身につけていきたい。

最後になりましたが、関係者各位のご理解とご協力に感謝いたします。

(CL津本/記)

行動報告

日付	時間	行動内容
8月30日(月) 縦走 距離：約 3km 天 気：晴れのち曇	07:20 10:50 11:00 11:30 12:40 13:15 13:20 14:50 15:20 16:00 18:00	難波発(高速バス) 米子駅着 米子駅発 (電車) 江尾駅着 江 尾駅発(路線バス) 中 大河原着 縦走開始 C1着 C1設営 夕食 就 寝
8月31日(火) 縦走 距離：約 8km 天 気：晴れ	04:00 06:00 06:30 07:10 07:45 08:25 08:30 09:00 09:35 09:45 12:30 13:15 14:10 17:00 18:00	起床・朝食 縦走再開 駒鳥峠への 縦走断念 中大河原発 (路線バス) 江尾駅着 江尾駅発(電車) 伯耆溝 口駅着 伯耆溝口駅発 (車) 大山夏山登山口着 縦走再開 弥山 (1,709m)通過 6合目避難小屋通過 元谷小屋(C2)着 夕 食 就寝
9月1日(水) 縦走距 離：約 14km 天気： 晴れ	05:00 06:10 06:45 08:50 10:55 12:50 14:50 17:00 18:00	起床・朝食 縦走再開 二俣 通過 上宝珠越 え通過 二俣通 過 川床通過 大休峠避難小屋(C3)着 夕食 就寝

日付	時間	行動内容
9月2日(木) 縦走距離：約18km 天気：晴れ	04:00 05:30 06:10 07:35 08:15 11:15 12:20 12:50 13:45 14:40 15:50 16:05 16:20 17:00 18:00	起床・朝食 縦走再開 野田ヶ山 (1,344m)通過 矢筈ヶ山(1,358m)通過 大休 峠避難小屋通過 三本 杉上着・縦走終了 三 本杉上発(路線バス) 浦 安駅着 浦安駅発(電車) 鳥取駅着・買い出し 鳥取駅発(路線バス) 子 どもの国入口着 柳茶屋キャンプ場(C4)着 夕食 就寝
9月3日(金) 縦走距離：約18km 天気：晴れ	05:00 06:10 09:30 17:00 18:00	起床・朝食 砂丘踏破開始 砂丘踏破終了 以下休養 夕食 就 寝(C4)
9月4日(土) 縦走距離：約18km 天気：晴れ	04:00 05:00 08:35 09:00 10:00 11:25 11:40 18:10 21:10 21:15	起床・朝食 砂丘踏破開始 砂丘踏破終了 テント設営練習 テント設営 練習終了 子どもの国入口発 (路線バス) 鳥取駅着 鳥取駅発(高速バス) 大阪駅着 合宿終 了・解散

装備報告 松下 破損・紛失などの問題はなかった。前回の北海道合宿の事故への反省をふまえて、調理の際にはポットスタンドを使用した。

医療報告 松下

日付	名称	使用者	症状	経過
9月1日(水)	シップ	加門	筋肉痛	良好
		津本	筋肉痛	良好
	バンテリン	松下	筋肉痛	良好

今回は大きな怪我などはなかった。砂丘での行動中に心配していた熱中症に関しても塩飴・スポーツドリンクを使用し、全く問題はなかった。また、今回の合宿の爲に新たに購入した医療品はなかった。

食糧報告 加門

日付	朝食	昼食	夕食
8月30日(月)	各自	各自	カレーライス
8月31日(火)	カレーうどん	ライトミール 魚肉ソーセージ	麻婆春巻 ご飯
9月1日(水)	餅入りラーメン	ライトミール 魚肉ソーセージ	牛丼(レトルト)
9月2日(木)	ご飯 味噌汁	ライトミール 魚肉ソーセージ	そうめん さんま塩焼き
9月3日(金)	餅入りラーメン	ライトミール 魚肉ソーセージ	カレーライス
9月4日(土)	ご飯 スープ	ライトミール 魚肉ソーセージ	

今合宿の食糧に関して、特に改善点・問題点は見られなかった。

撮影報告 加門 使用機材：

PENTAX OptioW90 撮影枚数：

130枚

天気に恵まれ、美しい山並み・景色、酷暑の中で奮闘する隊員の姿を多く収めることができた。また、バッテリー充電器を持参したが、使用することはなかった。

気象報告 津本

今回、気象用の天気図を持っていくのを忘れてしまった。その爲、携帯の電波が入るところでは携帯による天気の確認をし、携帯の電波が入らないところではラジオで天気の確認をした。今回の合宿の目的には気象の技術獲得が含められていたが、その目的を不注意で達成できなかった事を深く反省するとともに今後は家で荷物を詰める際に忘れ物のないよう気をつけたい。また、今合宿で気象の技術獲得ができなかった爲、10月中の普段のトレーニングにおいて天気図をつける練習を5回以上行なう。

会計報告 津本
決算

予算

交通費

難波～米子駅(高速バス)	¥4,700	難波～米子駅(高速バス)	¥4,700
鳥取駅～大阪駅(高速バス)	¥3,600	鳥取駅～大阪駅(高速バス)	¥3,600
浦安駅～鳥取駅(電車)	¥950	浦安駅～鳥取駅(電車)	¥950
鳥取駅～子どもの国入口(バス)	¥620(往復)	米子駅～江尾駅(電車)	¥480
米子駅～江尾駅(電車)	¥480	鳥取駅～子どもの国入口(バス)	¥360
江尾駅～中大河原(バス)	¥400(往復)	鳥取砂丘～鳥取駅(バス)	¥300
江尾駅～伯耆溝口駅(電車)	¥190	江尾駅～中大河原(バス)	¥200
三本杉上～浦安駅(バス)	¥100	三本杉上～浦安駅(バス)	¥100
小計	¥11,040	小計	¥10,690

交通費	¥11,040×3人=¥33,120	¥10,690×3人=¥32,070
装備費	¥0	¥25,000
医療費	¥0 (※医療報告参照)	¥2,000
食糧費	¥8,520	¥14,400
撮影費	¥900	¥3,000
雑費	¥0	¥3,030
合計	¥42,540	合計 ¥57,000

基本的な技術の習得を目指し行なったこと

1. 全隊員が1：25,000の地形図を持ち、休憩時間毎に各々が現在地と時刻を記入。
→全員が記入していくことで、読図の練習になったとともに、各々が積極的に地図を見るようになったと考える。
2. 柳茶屋キャンプ場でのテント設営練習。二人一組で時間を計測して三回以上。
→今回始めて時間を測りながらテントの設営をしたが、おおよそ5分程度で設営できた。これまでの活動の中である程度は設営のコツが自ずと身についていたのではないかと考える。練習を行なったペアとかかった時間は以下の表の通りである。

今回の練習を通して、やはりテントを設営する時は各々が黙々と設営するよりも声を掛け合いながらやる方が手早く設営することができるとわかった。

回数	ペア	時間
一回目	加門・松下	5m05s
二回目	加門・津本	5m10s
三回目	津本・松下	5m06s

回数	ペア	時間
4回目	加門・松下	5m02s
5回目	加門・津本	4m59s
6回目	津本・松下	5m00s

雑感 津本 初めてのCLでどうなることかと心配していましたが、けが人もなく無事終わることができてよかったです。ですが、今回の合宿を通して体力不足や技術・経験不足を感じることもあったのでこれから頑張っていきたいです。大山では、登山口まで行くバスがなくて困った時にリフトのお兄さんが車で送ってくれ、人の親切さのありがたみを感じることができました。砂丘は、思っていたよりも暑かったです。でも、一面砂しかないところに行ったのが初めてだったので楽しかったです。今回、私が色々な場面であたふたしていた時にフォローしてくれた加門さん、積極的に動いてくれた松下君に本当に感謝しています。ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

雑感 加門 合宿参加が決めたのが直前であったことに加え、山はあまり好きなフィールドではなかったのでモチベーションが上がらないなと思いながらのスタートであった。初日から豪糧に見舞われたことも気落ちさせられた。しかし、二日目以降はこれでもかというほどの好天続きで、猛暑の中ひたすらに歩き続け、バカみたいに毎日大量の汗を掻いた。そうなると思えば逆になんとなくと登る中、楽しいとは言いがたいものの、「気持ちの良い汗」とはこういうものかと感じた。

初日のルートが不明瞭になった際も含めて、様々な場面でCLらしさを発揮してくれていたと思う。CLとしての行動1つとっても私と全く違ったカラーだと感じた。これから2回生が本格的に部を運営していくと、部全体も違ったカラーになるのだろうなと思うと、楽しみでもあり、寂しくもある。また、1回生の松下君は調理の際をはじめ、非常に積極的に動いてくれ、北海道の合宿で多くのことを学んだのだろうと感じた。中途退部した人を含めて、ここ数年で一番よくできた1回生だと感じた。

雑感 松下 今回の合宿では一日目に道がわからなくなり翌日引き返すことになったが、それ以外では特に問題なく進み、怪我人もださず無事に終わることが出来たのでよかった。3日目の上宝珠越えから下ってくる砂すべりの坂がスキーみたいで楽しかった。砂丘には観光客よりも草むしりをしている人の方が多かったので驚いた。また砂丘の踏破に関しては2日もかけなくてよかったのではないかなと思う。

K.U.E.C.